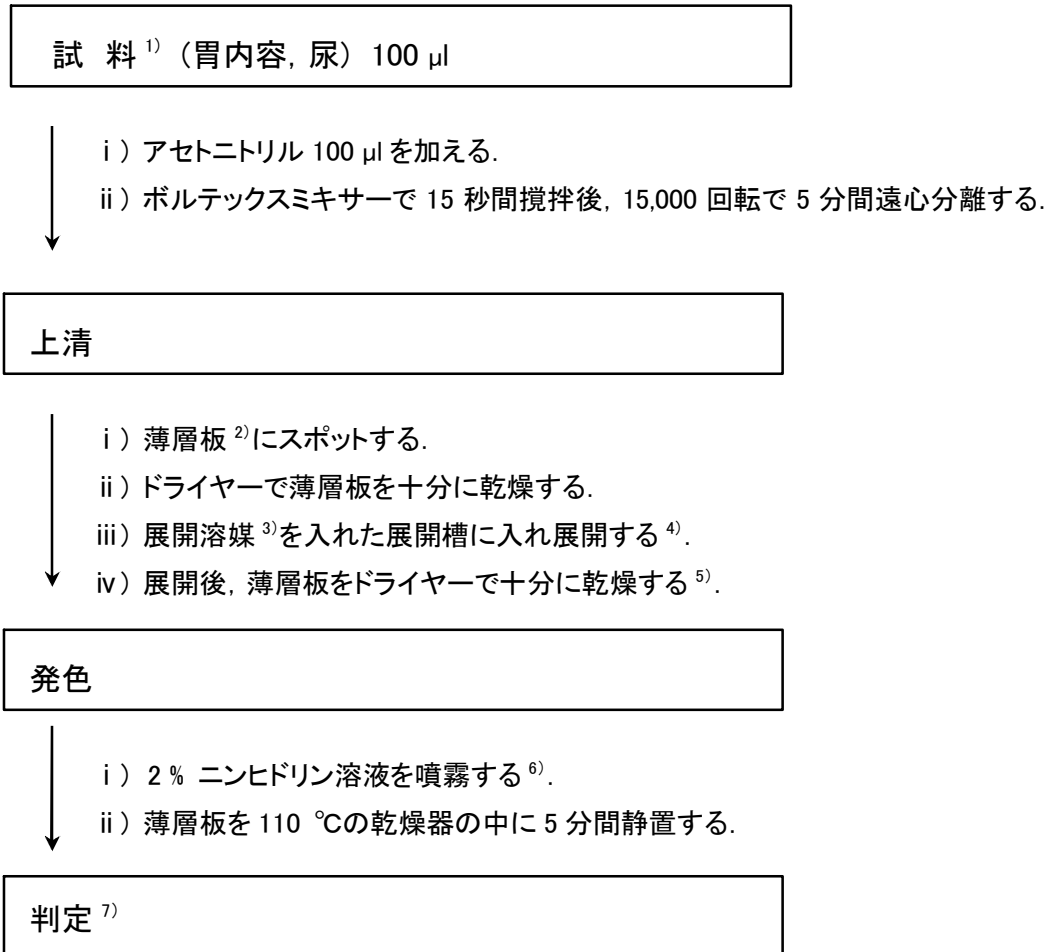


## D. 含リンアミノ酸系農薬

## D-1. グリホサート, グルホシネート

## (1) 薄層クロマトグラフィー(TLC)

## i) 操作法



## 【注 解】

- 1) 試料は, 高濃度含有される尿や胃内容について適応できるが, 特異性が低いので必ず対照と比較する. 血清や全血にはブランク中にも同じ移動率の物質が存在するので応用できない.
- 2) 薄層板は, HPTLC aluminum sheets silicagel 60 pre-coated (Merck) を使用する.
- 3) 展開溶媒は, エタノール/水/アンモニア水 (7:3:0.1, v/v/v)を使用する.
- 4) 予め, 展開槽に展開溶媒を入れ静置し展開溶媒の蒸気を充満させておく. 6 cm展開するのに約45分かかる.
- 5) アンモニア臭がなくなるまでドライヤーで十分に乾燥する. アンモニアが残っていると全体が着色し判定ができなくなる.
- 6) 市販の薄層クロマトグラフ用ニンヒドリンスプレーで代用できる.
- 7) 本条件におけるグリホサートのRf値は0.42, グルホシネートのRf値は0.65である. ニンヒドリンでの検出感度は絶対量で0.1-0.5 µgである.

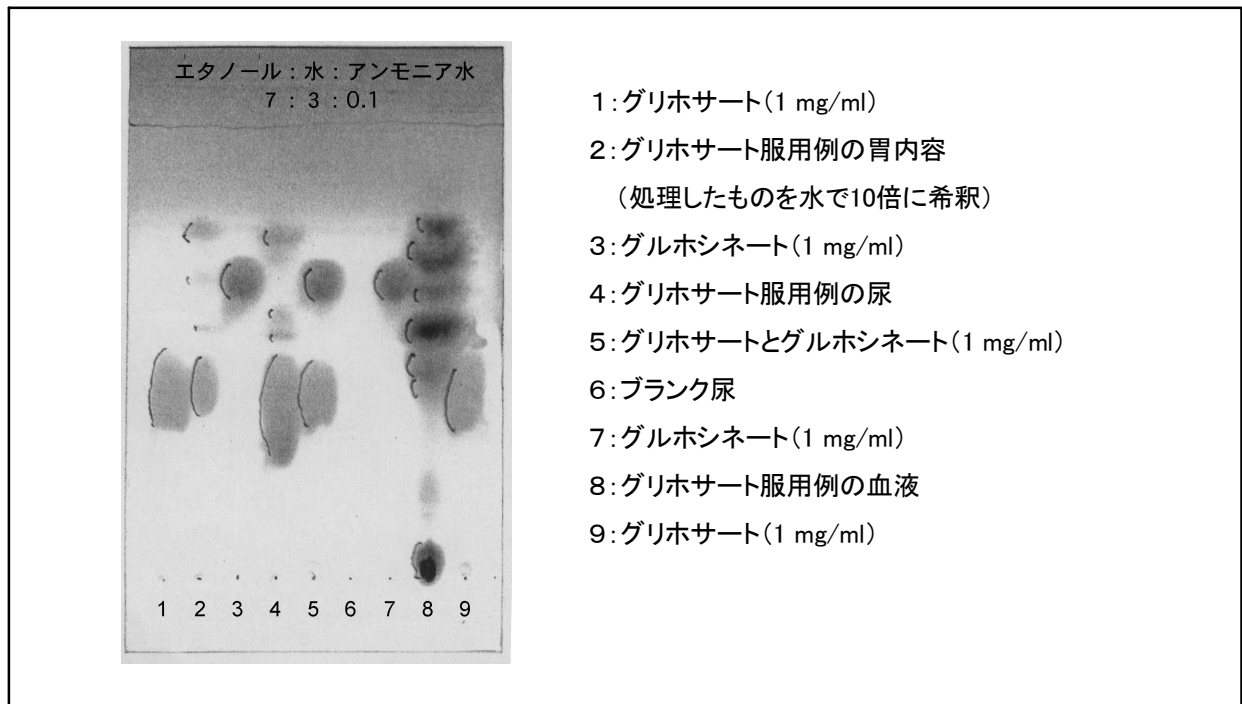


図1. グリホサート中毒例への応用例

【文献】

1. 角田紀子. 法中毒 1990;8:100-111.